

2022 年の世界経済の動向と塩ビ需要の見通しについて

2022 年 2 月 17 日

塩ビ工業・環境協会

- 本年 1 月に発表された世界銀行（World Bank）の「世界経済見通し」によれば、2021 年の世界経済の成長率（実質 GDP 伸び率、以下同じ）を 5.5%、2022 年を 4.1%と予測しています。
- 塩ビの需要はインフラや住宅投資等とのかかわりが強く、世界経済の成長率と一定の相関を有していると考えられます。
- 過去 10 年間の相関を踏まえると、2022 年の世界の塩ビ需要は 4%程度伸びることが見込まれます。
- 併せて本稿では、欧米、中国、インドに関する経済動向と塩ビ需要について調査しました。

1. 世界経済の動向と塩ビ需要

（1）世界経済の今後の見込み

○本年 1 月、世界銀行（World Bank）は「世界経済見通し」を発表しました。その中で 2021 年の世界経済の成長率（実質 GDP 伸び率、以下同じ）を 5.5%、2022 年を 4.1%とし、前回（2021 年 6 月）の見通しと比較すると、両年とも 0.2%下方に修正しました。

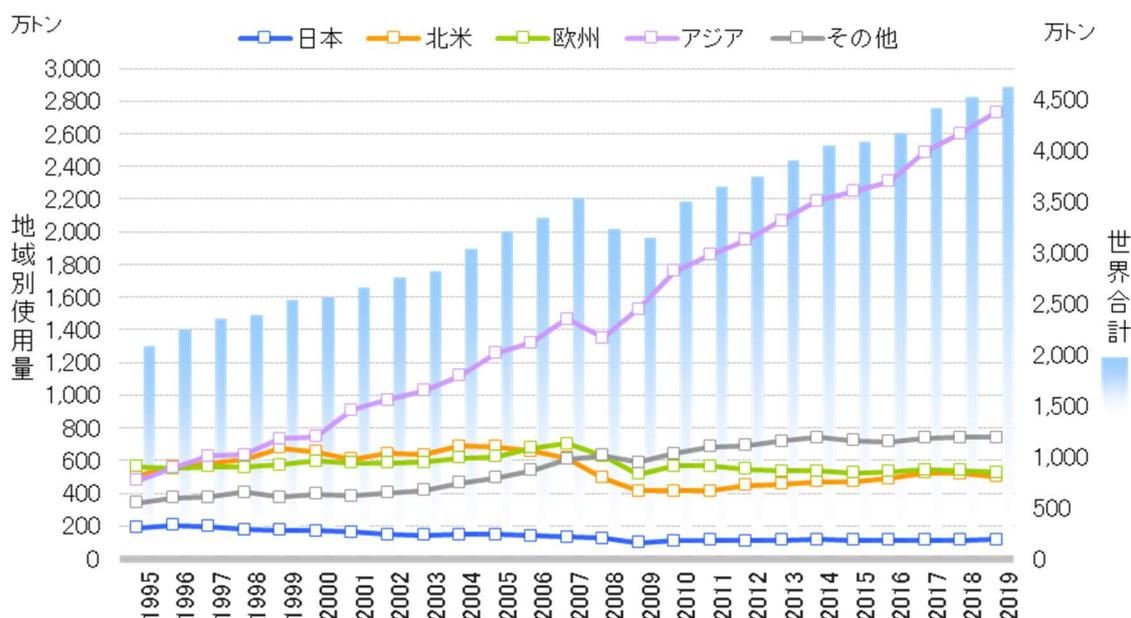
○世界銀行は、「世界経済見通し」の中で、2021 年に力強く回復した世界経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株（オミクロン株）による脅威とインフレ率の上昇、債務及び所得格差の拡大が相まって大幅な減速局面に入っており、これらの要因が、新興国及び途上国の経済回復を毀損する恐れがあると指摘しています。世界経済の成長率は、繰延需要（注：経済成長に伴う賃金上昇は遅行性があり、経済自体の回復より通常遅れるため、消費者の行動も経済の回復より通常遅れることが多くなります。経済の回復より遅れて発生する消費需要のことを繰延需要といいます。）の消失と世界規模での財政面・金融面の支援の縮小を受け、2021 年の 5.5%から、2022 年は 4.1%、2023 年は 3.2%と大きく鈍化すると予測しています。

（2）塩ビ需要の見込み

○汎用樹脂である塩ビ樹脂の需要は、インフラや住宅投資等とのかかわりが強く、世界需要はアジアを中心に過去 10 年間（2010 年～2020 年）で約 1.35 倍伸びました。この間の世界経済の成長率は、約 1.28 倍であったため、塩ビ需要の世界経済成長率弾性値は 1.05 と計算されます。上記（1）で述べたように 2022 年の世界経済の成長率が 4.1%と見込まれるため、世界の塩ビ需要量は機械的に計算すると 4%程度伸びるものと見込まれます。

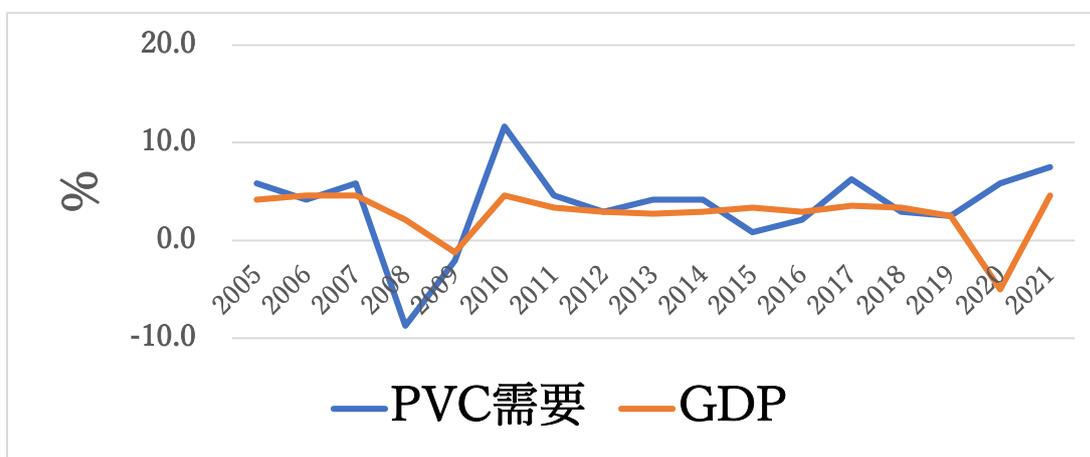
（図 1-1, 1-2 参照）

1-1 世界の塩ビ樹脂使用量の推移



出典: 会員企業提供データをもとに VEC 作成

1-2 世界の PVC 需要伸び率と GDP 伸び率の推移 (2020年以降は予測値)



出典: 会員企業提供資料をもとに VEC 作成

2. 欧米の経済動向と塩ビ需要

(1) 米国の経済動向と塩ビ需要

○前記の世界銀行の見通しによれば米国の成長率（実質 GDP 伸び率）は、2021 年は 5.6%、2022 年は 3.7%と見込まれています。

○昨年 11 月には超党派のインフラ投資計画法案が可決され、今後 5 年間で新規支出 5,500

億ドルが実施されることになりました。5,500 億ドルの主な内訳として、道路橋梁整備に 1,100 億ドル、水道インフラ整備に 550 億ドル、ブロードバンド整備に 650 億ドルを充てています。

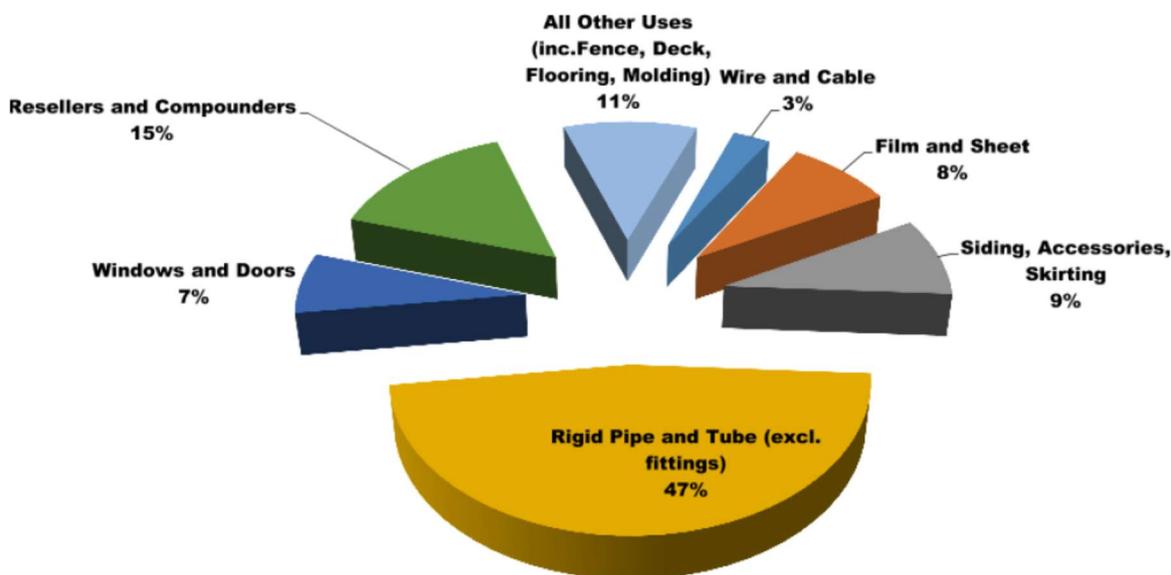
○米国商務省が発表した昨年 12 月の住宅着工・許可件数によれば、住宅着工件数は（季節調整済）は 170.2 万戸と前月比 1.4%増と昨年 3 月以来 9 か月ぶりの高水準となりました。また、着工件数の先行指標となる住宅着工認可件数は、12 月は対前月比 9.1%増の 187.3 万件でした。全米住宅産業協会による戸建て新築住宅販売のセンチメントを示す住宅市場指数は、2022 年 1 月が 83 と前月より 1 ポイント低下しましたが、依然として高水準が続いています。

○塩ビは耐久性、耐腐食性、加工性だけでなく、社会インフラに不可欠な防炎性、火災安全性等に優れているため、米国ではパイプ・継手、建材等の分野で用いられています。

○また、塩ビは絶縁性と耐久性に優れ、やわらかくしなやかで破損しにくいという特性を有しているため、電線・ケーブルの被覆材として用いられています。米国の塩ビ協会は国際会議 PVC2021 において、5G（第 5 世代移動通信システム）のインフラの整備に伴い、今後 7～10 年の間、米国の電線・ケーブルの需要は毎年 2%程度伸びると発表しております。

○2022 年は、インフラ投資計画法案の可決によるインフラ分野だけでなく、好調が続く住宅分野・電線ケーブル分野においても、塩ビ需要が堅調に推移すると見込まれます。

米国&カナダ 塩ビ樹脂の需要比率（2020 年）



（出典）米国化学工業協会

(2) 欧州（ユーロ圏）の経済動向と塩ビ需要

○前記の世界銀行の見通しによればユーロ圏の成長率（実質 GDP 伸び率）は、2021 年は 5.2%、2022 年は 4.2%と見込まれています。

○特に住宅分野は需要が強く推移しており、新型コロナウイルス感染症による工事の遅れを原因とする新築住宅の供給不足等も相まって、住宅価格は近年上昇傾向にあります。欧州委員会が昨年 11 月に公表した秋季経済予測によれば、2013 年以降 2021 年第 2 四半期までの間に EU 諸国の住宅価格は平均で 38%上昇しました。これは年平均で約 4%程度上昇したことに相当します。ドイツは同期間で 62%、ポーランドは 40%、スペインは 37%、フランスは 18%上昇しました。一方、イタリアは同期間で-7%、ギリシャ、キプロスはほぼ 0%でした。

○2022 年は、経済成長に伴うインフラ分野だけでなく、住宅分野でも塩ビ需要の拡大が見込まれます。

3. アジアの経済動向と塩ビ需要

(1) 中国の経済動向と塩ビ需要

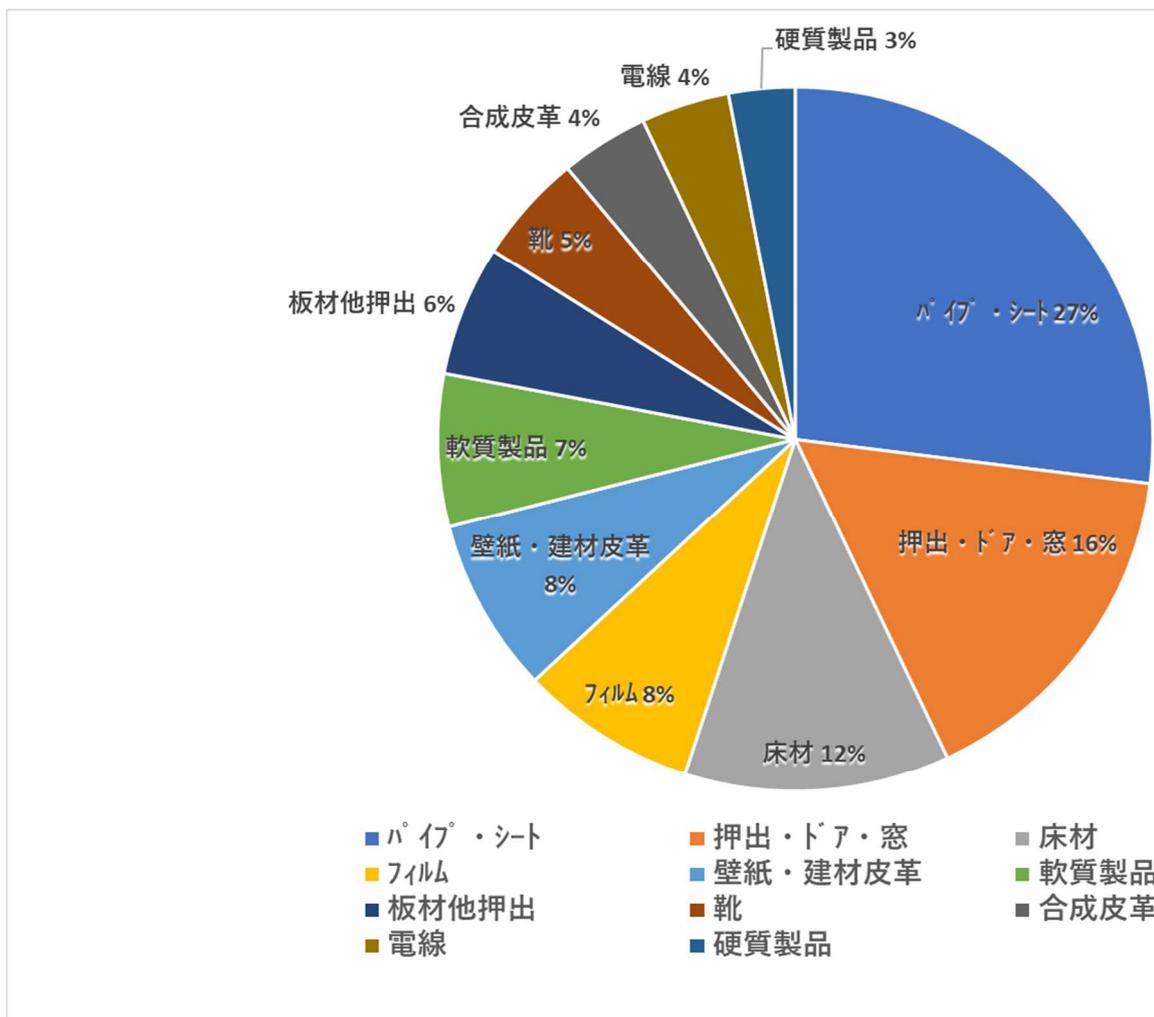
○前記の世界銀行の見通しによれば中国の成長率（実質 GDP 伸び率）は、2021 年は 8.0%、2022 年は 5.1%と見込まれています。昨年から顕在化した不動産市況の悪化に伴う、住宅価格の下落、不動産産業の倒産や経営危機等が景気の下振れ要因として考えられており、今後とも注視していくことが重要です。

○本年 1 月に開催された GVC（Global Vinyl Council）において中国から出されたデータによれば、2021 年の PVC の需要量は 2095 万トンで、2020 年の 2106 万トンに比べて対前年比 0.5%減でした。2007 年の需要量がほぼ 1000 万トンだったので、過去 13 年間（2007 年～2020 年）で約 2.11 倍になったこととなります。同期間中の中国の実質 GDP は世界銀行の統計を用いると 2.57 倍（2007 年：35 兆 4470 億元、2020 年：91 兆 1200 億元）になったので、塩ビ需要の GDP 弾性値は 0.82 と計算されます。このため、2022 年の PVC 需要量は機械的に計算すると 4%強の増加が見込まれます。

○PVC の 2021 年時点の供給能力は 2713 万トンと対前年比 1.8%増でした。このうち、エチレンベースが 22%、アセチレンベースが 78%となっています。2022～2023 年にかけて PVC の能力増強に関する複数のプロジェクト（50%以上がエチレンベース）がありますが、現在も未着工の案件が多く実現は不確定です。

○個別分野では、パイプ・床材・建材の需要が大きく安定して伸びています。パイプについては伸び率こそ鈍化していますが、2020 年の生産量は 1636 万トンと対前年比 2.3%増でした。床材は戸建住宅だけでなく、学校、病院、バスの発着センター等公共施設に幅広く使われており、2020 年の生産量は 10 億 M² と対前年比 6.4%と大幅に増加しました。

中国 塩ビ樹脂の需要比率 (2021年)



(出典：GVC データをもとに VEC 作成)

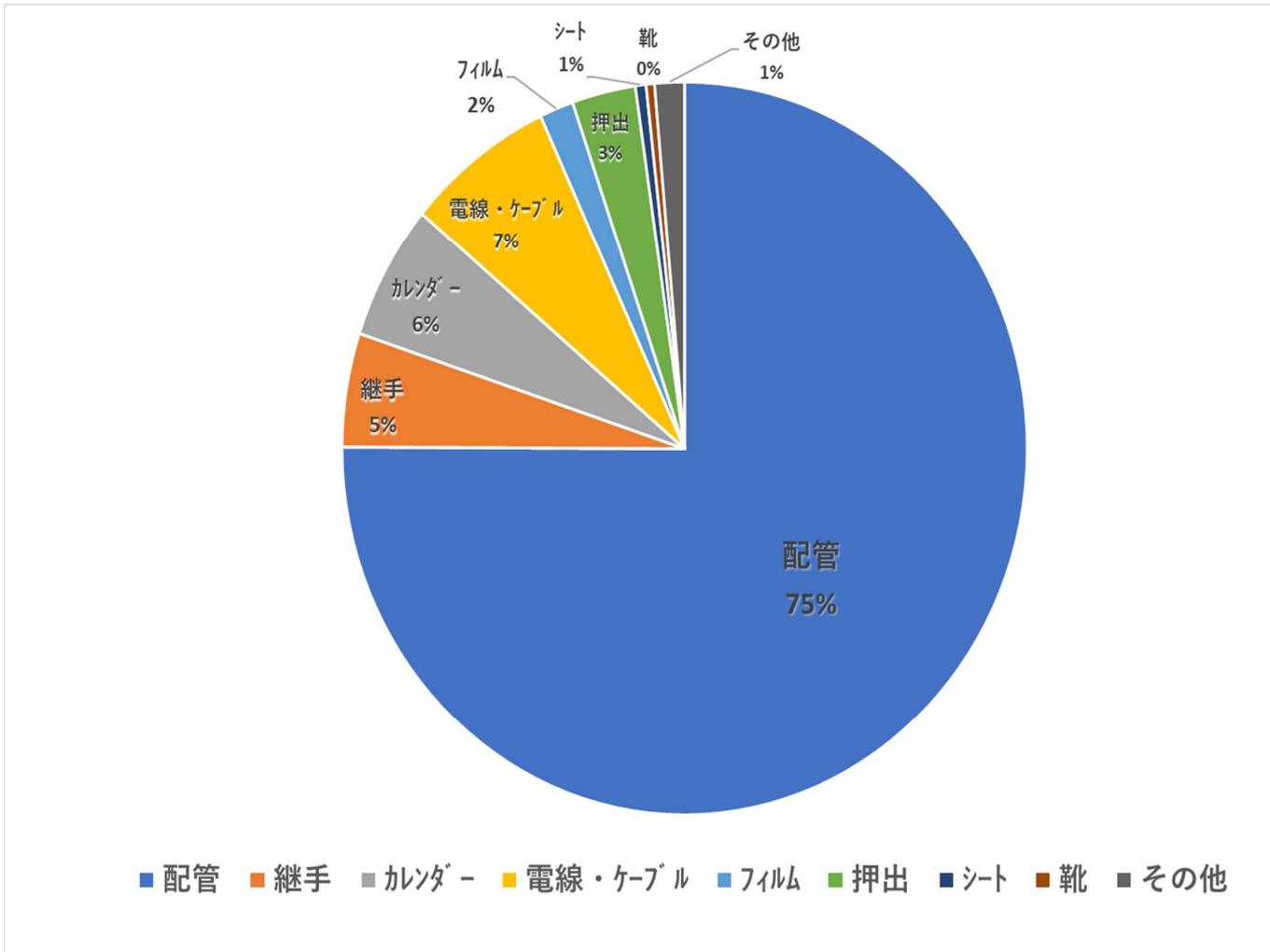
(2) インドの経済動向と塩ビ需要

○前記の世界銀行の見通しによれば2021年は8.7%、2022年は6.8%と見込まれています。

○本年1月に開催されたGVC (Global Vinyl Council) においてインドから発表されたデータによれば、2020年のPVCの国内需要量は270万トン、国内供給能力は145万トン、輸入量は140万トンでした。個別分野では、パイプ・継手が75%を占め、農業分野、上下水道、住宅分野等で使用されています。2020年のパイプの需要量は219万トンで対前年比8%と高い伸びを示しています。

○硬質パイプ・継手以外では、軟質電線・ケーブル、硬質押出成形品(窓枠/建具等建材)、軟質フィルム・シート分野で今後需要量の高い伸びが見込まれると期待しています。需要の増加分は輸入で賄うことを想定しており、輸入比率は55%まで上昇する(2020年時点で52%)ことが見込まれています。

インド 塩ビ樹脂の需要比率（2020年）



(出典：GVC データをもとに VEC 作成)

以上